

特別支援教育研究論文集

—令和4年度 特別支援教育研究助成事業—

研究協力：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

組織的な教員相互の「学び合い」が、
授業力と組織運営力の向上に与える効果について
—学習指導要領に基づく授業づくりと
学習評価に関する理論と実践の往還を通して—

静岡県立富士特別支援学校

教諭 岩附 敦史

令和5年3月

公益財団法人みずほ教育福祉財団

要旨

教員の資質能力向上は学校現場において喫緊の課題であり、勤務校においては、学校運営の要となる新任のミドルリーダー（学年主任等）に対して効果的な研修を実施し、資質能力の向上を図る必要性が高まっている。本研究では、勤務校における新任の学年主任等を対象に教員相互の「学び合い」を実施し、この取組の学習指導要領に基づく授業力と組織運営力の向上への効果について検証することを目的としている。

研究方法としては、筆者自身がファシリテーターとして、新任の学年主任4人と研修課長1人を対象に「学び合い」という名の0JT研修を実施した。「学び合い」は全8回で構成し、前半は主に学習指導要領に示す理論的な内容について解説し、対話を通して学びを進めていった。後半は学習指導要領に準拠した授業づくりと学習評価に関わる必要な手続きを実践的な試みを通して理解を深めていった。この「理論」と「実践」の往還的な学びがもたらす授業力向上への効果について検証した。

また、「学び合い」で取り扱った内容をMicrosoft PowerPointで作成し、学習指導要領に示す理論的な内容の解説から、授業づくり過程における具体的な目標及び内容、評価規準の作成手続きや学習評価の方策等の実践的試みまでを一つの研修パッケージとして活用できるようにした。そして次年度以降も、筆者以外の教員がファシリテーターとなり、0JT研修等で活用することで、組織経営力の向上につながる可能性について検討した。

効果の検証方法については、「学び合い」の実施前と実施後にアンケート調査を実施し、学習指導要領への理解度や自身の組織運営における評価や課題について回答を求め、その変容について考察した。また、毎回の「学び合い」の後にもアンケート調査を行い、取り扱った内容に対する自身の理解度の変容についても考察した。

アンケート調査の結果から、「学び合い」により学習指導要領に示す内容の理解が高まり、授業力の向上に効果があったと推察した。また、学習指導要領という情報媒体において、「学び合い」という対話をベースにした研修方法は、自分事として捉えやすく、理解する上で有効に機能したと考えられた。一方で、参加した教員がファシリテーターとなって、他の教員に解説できる程の理解の深まりまでは実感できなかったことが分かり、誰かにアウトプットする機会の設定等が今後の改善で必要である。

また、組織運営力の向上においても効果があったことが、アンケート調査の結果から推察できる。特に学習指導要領に対する理解が深まり、各々が組織経営をする際の根拠を得られたことが組織運営力の向上につながったと考える。更に研修パッケージについては、全員が有効性を感じ、今後も活用したいと回答していることから活用の可能性があると考ええる。しかし、活用する際には、有志の参加者に限定し、目的に応じて内容を精選する等、効果的な研修にするための運営上の工夫も必要である。

キーワード：ミドルリーダー 学び合い 学習指導要領 授業力 組織運営力